

農業経営士協会鹿行支部銚田分会と銚田普及センター職員との意見交換会を開催

令和7年7月9日に、銚田市管内の農業経営士会である銚田分会と銚田地域農業改良普及センター地域普及第一課職員との意見交換会を、銚田合同庁舎会議室にて開催し、農業経営士7名、普及センター6名の計13名の参加がありました。

テーマは昨今の「高温による農作物への影響や病害虫の被害状況及びその対策等について」で、各農業経営士からは、メロンやイチゴ、カンショなどの経営品目における高温の影響やその対策、普及センターからは、現地巡回で把握した農作物の状況や問合せの情報のほか、現場で実証試験中の遮熱ネットや屋根散水などの高温対策、近年問題となっている微小害虫が媒介するウイルス病や品目横断的な媒介虫防除の必要性などについて情報提供を行いました。また、全国的にも問題になっている担い手不足についても議論し、他産地の優良事例の話題を織り交ぜながら、今後の銚田市農業のあるべき姿について積極的な意見交換を行いました。そして、担い手を呼び込むためには、銚田市の農業を魅力ある農業にすること、また、それを発信していくことが重要ということで意見がまとまりました。

初めて参加した新任の農業経営士からは、「自分と違う意見が聞けて大変勉強になった」、「参加してとてもよかった」などの声をいただき、有意義な研修会となりました。

普及センターでは引き続き、銚田分会の農業経営士と連携し、地域農業の課題解決に向けた提案や、担い手の確保・育成のための支援をしていきます。

銚田普及センター（担い手）